

第3回

地域研究を
パブリッシュする

2023年1月25日(水)

13:30—14:30^{*}最大延長15:00までオンライン開催 ウェビナーの登録 URL <https://tinyurl.com/4rjzudn6>
動画公開 URL <https://bit.ly/3bm4kYE>

開催方法

このシンポジウムはレクチャー動画の事前視聴とオンラインのディスカッションによって行います。

1月11日に3人のパネリストによるレクチャー動画を公開します。シンポジウムには動画を視聴の上でご参加ください。

パネリストへのコメント・質問は事前に jcas@cseas.kyoto-u.ac.jp あてにメールでお送りいただくか、ディスカッションの際にお寄せください。

1月25日のディスカッションの記録動画は、1週間限定で見逃し配信を行います。

司会

柳澤 雅之

パネリスト

鈴木 哲也

「大きな問いを日本と世界に——地域研究を〈専門外〉に伝え、〈学術の物語〉を紡ぐために」

勝 康裕

「読者対象は誰か、〈専門知〉をどのようなかたちで伝えるのか」

植松 裕子

「英文学術書の海外流通——出版社のやること、筆者にできること」

登壇者紹介



柳澤 雅之 (京都大学東南アジア地域研究研究所准教授)

ベトナムを中心に東南アジアの農村史や生態史について研究している。主要業績は、『No Life, No Forest 热帯林の「価値命題」を暮らしから問う』(2021年、阿部健一との共編著、京都大学学術出版会)、『情報とフィールド科学6 景観から風土と文化を読み解く』(2019年、京都大学学術出版会)など。



鈴木 哲也 (京都大学学術出版会専務理事・編集長)

京都大学文学部および教育学部に学ぶ。出版社勤務を経て1994年に京都大学学術出版会に移籍、2006年より現職。著書に『学術書を読む』、『学術書を書く』(高瀬桃子との共著)、『世界大学ランキングと知の序列化』(分担執筆)『専門家』とは誰か』(分担執筆)、『京都の「戦争遺跡」をめぐる』(池田一郎との共著)など。



勝 康裕 (フリー編集者)

法政大学法学部政治学科に学ぶ。1984年、同文館出版株式会社に入社。その後、(株)知泉書館の設立に関わり、2003年、(一財)法政大学出版局に移籍、同編集部長を経て、2014年からフリーで活動。2016年よりJETROアジア経済研究所の「成果発信アドバイザー」として、外部出版の業務にも携わっている。



植松 裕子 (Trans Pacific Press 株式会社代表)

筑波大学で文化人類学を学ぶ。研究対象地域はインド。大学卒業後、出版社、新聞社勤務を経て、2007年にインドへ転居。現地企業Crimson Interactive (英文校正エナゴ)に就職し、2009年から11年にわたり同社の日本支社長を務める。2020年、オーストラリアの学術出版社Trans Pacific Pressの事業を承継し、現職に就任。

主催

地域研究コンソーシアム

共催

京都大学東南アジア地域研究研究所 (CSEAS)

後援

独立行政法人日本貿易振興機構 アジア経済研究所 京都大学学術出版会 Trans Pacific Press 株式会社



IDE-JETRO



TRANS PACIFIC PRESS



2023/1/25 13:30 – 15:00

地域研究を パブリッシュする 第3回

シンポジウムの直接的な課題は、地域研究の成果を出版するに際し、わかりやすさ、とりあげる課題の選択、提供の仕方など、出版社側の立場から日ごろ地域研究者と共有したい考え方を示し、対話の機会をもつことにある。地域研究者が考える成果物の出版と社会がもとめる出版の間にはどのようなギャップが存在するのかを、学術界と一般社会をつなぐ出版社の観点から議論する。

ただし、本シンポでは、地域研究の成果物を出版するための「ノウハウ」を議論するのではない。その背後にある、より大きな課題を議論の射程に入れている。すなわち、専門知とは何か、専門家とは誰か。一般社会における専門知・専門家の現代的な役割は何か。人文社会科学だけでなく自然科学の成果の利用も政治化するようになった現代、科学の中立性はもはや成り立たないのか。そうであれば、非専門家である大多数の「わたしたち」は、何を信じて生きればよいのか。専門知をどのように社会に還元するかは、地域研究にとって常に大きな課題であるし、コロナ禍の中で専門知の位置づけのゆらぎを多くの人が体験している。

一般社会の専門知に対する接し方が変容すると同時に、学術界における専門知の創造プロセスや出版事情にも大きな変化が押し寄せている。若い研究者にはより多くの論文作成が求められるし、成果公開の媒体が大きな変化の中にある。商業出版を取り巻く事情は、近年、とりわけ厳しい。シンポでは、日ごろ、そうしたすべての変化に目配りしながら、学術界と一般社会をつなごうとする出版社の方々との対話を通じて、地域研究の専門知の現代的な課題と可能性について考えたい。

お問い合わせ

地域研究コンソーシアム（JCAS）
E-mail: jcas@cseas.kyoto-u.ac.jp
Home Page: <http://www.jcas.jp/>



JCAS